

実践

USE Read をジグソー法で読む



山本 崇雄
(都立両国高等学校)

1. 生徒がアクティブに主体的に学ぶために

アクティブ・ラーニングは、教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、生徒が主体的、能動的に学ぶことを指す。本稿では、典型的な手法であるジグソー法を使って、アクティブ・ラーニングを授業に取り入れる方法を述べていきたい。

2. USE Read をジグソー法で読む

まず、教科書本文を4つに切ったものをそれぞれ教室の四隅に貼る。次に4人グループを作り、それぞれが1つずつ担当し、貼られた本文を読み、ワークシートを完成させる。ただし、読みに行く際は、ワークシートは机の上に置いたままとし、必ず戻ってから書く。また、何度読みに行ってもよいが、必ず暗記し、メモも取ってはいけない。

ワークシートは、()には1語、_には複数の語を入れる穴埋め形式になっている。()や_は、読解のキーになる語句を中心に選ぶことで、読みに行く際はそれらに集中させることができる。キーになる語句を何度も読み、意味を考え、書き写すという作業が、あとで英文全体を通して読むときに理解の助けになる。

最初から読みの活動に入ることに抵抗がある生徒もいるだろう。その場合は、読みの活動に入る前に、教科書の写真やイラストだけを見せ、そこから本文内容を想像させたり、キーワードを書き出させたりして、グループで情報をシェアさせるとよい。一方、得意な生徒には複数の英文を読みに行くよう指示すれば、段階に応じた指導も可能になる。

3. アクティブ・ラーニングは人間関係も育てる

ジグソー法を使うことにより、長い文章を分担し、読む量を減らすことで、苦手な生徒も取り組みやすくなる。また、しっかり読まないグループのメンバーに伝えられないので、「誰かのために読む」というモチベーションになる。情報を仲間から得たときは必ず“Thank you.”と言うよう促し、お互いの存在意義を高めさせるとよい。学校生活の中で「ありがとう」を言ったり、言われたりする場面は意外に少ない。授業の中で複数回ペアを替え、何度もいろいろな人に感謝することが、クラスの間人間関係を育てていく。英語の4技能を育てるだけでなく、大きなおまけもついてくるのが、アクティブ・ラーニングの素晴らしい点である。

ワークシート

(本文 2)

()に英語を入れよう。

1段落 The Ogasawara Island became a _____ in (). _____ visit our islands () year. They swim with () and (). They enjoy ...

2段落 We, the people of ...

(本文 1)

(本文 4)

(本文 3)

④ Turtles come to the beach and lay eggs. It is a beautiful event. People sometimes take pictures. The turtles are afraid of the flash. They don't lay eggs. They hurry across the beach and go into the sea. If this continues, the turtles will not come back.

④ We live in balance with nature. We hope that our visitors will understand this. Then turtles will _____ with us and our children.